

Ⅱ-5 樹林調査

1. 樹林の現況

(1) 区全体の現況

	(H26)		(R5)
○300 m ² 以上の樹木被覆地	1,039 箇所	→	800 箇所
○樹林の樹木被覆地に占める割合	51.3%	→	44.8%
○樹林面積	1,151,720 m ²	→	965,734 m ²

樹木被覆地の面積規模別の現況と経年変化を表Ⅱ-5-1に、300 m²以上の樹木被覆地（以下樹林という）の分布図を図Ⅱ-5-1にそれぞれ示す。

面積規模別では、300 m²未満が1,190,899 m²でもっとも多く、構成比は55.2%を示す。

樹林は、800 箇所、965,734 m²であり、これは本区の樹木被覆地面積の44.8%にあたる。

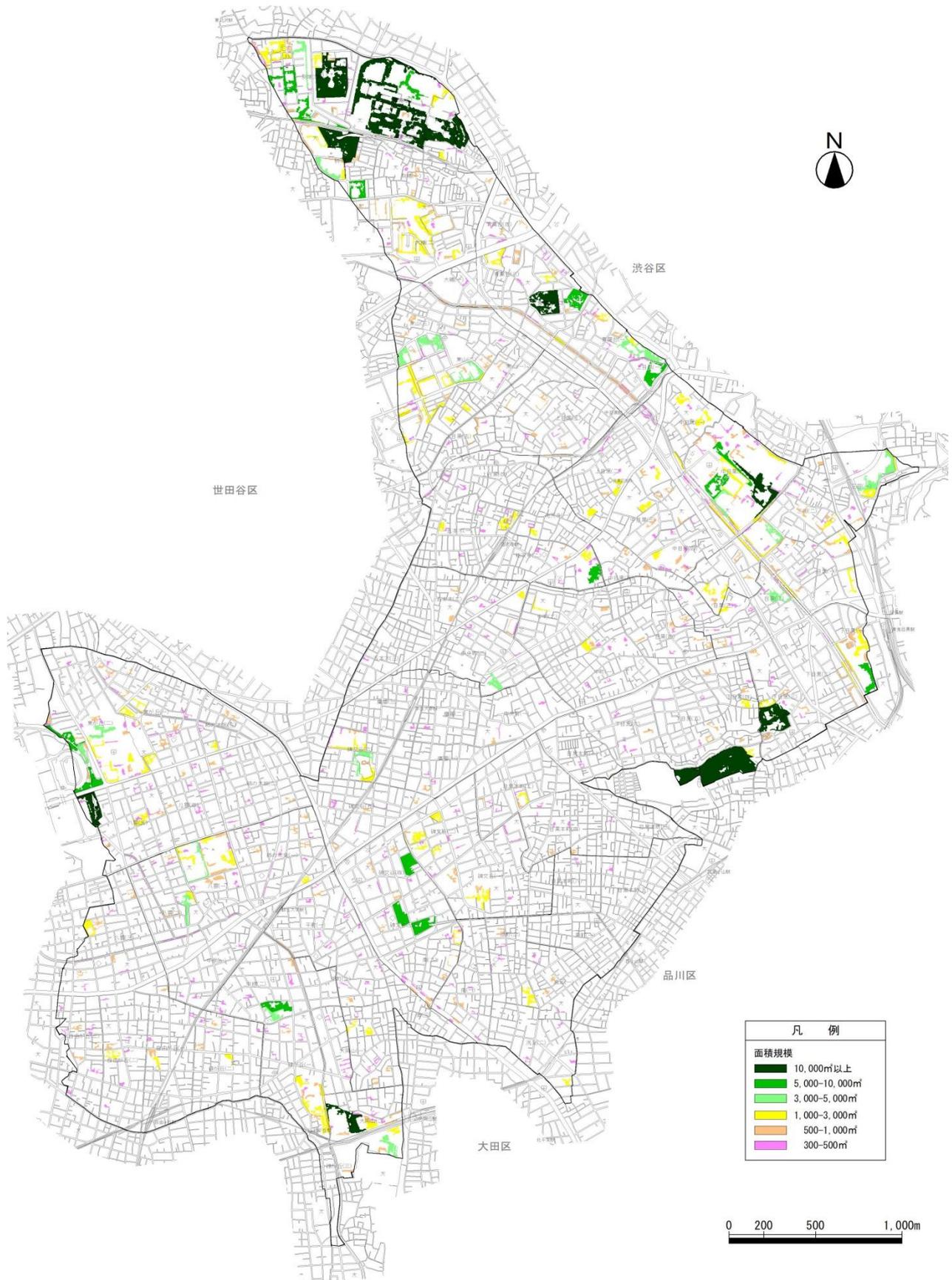
樹林の面積規模では、10,000 m²以上の構成比が多く、3,000~5,000 m²の構成比が少なくなっている。

前回調査（2014（平成26）年度）から、樹林の箇所数が239箇所、面積が185,986 m²減少した。面積規模10,000 m²以上の樹林については1箇所、面積が12,010 m²、5,000~10,000 m²の樹林では1箇所、6,187 m²の増加がみられる。

一方、面積規模3,000~5,000 m²の樹林については12箇所、46,003 m²、1,000~3,000 m²の樹林では41箇所、70,044 m²、500~1,000 m²の樹林では52箇所、33,376 m²、300~500 m²の樹林では136箇所、54,760 m²の減少がみられ、5,000 m²以下の規模で箇所数・面積とも減少傾向を示している。

表Ⅱ-5-1 樹木被覆地の面積規模別の現況と経年変化

面積規模		平成26年度調査		令和5年度調査		増減		
		箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	
樹木被覆地	樹林	①10,000m ² 以上	8	256,462	9	268,472	1	12,010
		②5,000~10,000m ²	15	98,650	16	104,837	1	6,187
		③3,000~5,000m ²	33	125,269	21	79,266	-12	-46,003
		④1,000~3,000m ²	166	266,629	125	196,585	-41	-70,044
		⑤500~1,000m ²	302	204,938	250	171,562	-52	-33,376
		⑥300~500m ²	515	199,772	379	145,012	-136	-54,760
		合計(①~⑥)	1,039	1,151,720	800	965,734	-239	-185,986
	⑦300m ² 未満	-	1,094,740	-	1,190,899	-	96,161	
合計(①~⑦)		-	2,246,460	-	2,156,633	-	-89,827	



図Ⅱ-5-1 樹林分布図 (300 m²以上の樹木被覆地)

(2) 地区・住区別の現況

	(H26)		(R5)
○樹林面積の大きい地区	北部地区	→	北部地区
小さい地区	中央地区	→	中央地区
○樹林面積の大きい住区	駒場住区	→	駒場住区
小さい住区	向原住区	→	向原住区

地区別、住区別の樹林の規模別構成と経年変化を図Ⅱ-5-2、図Ⅱ-5-3に示す。

地区別の樹林をみると、樹林の面積は、北部地区（370,334 m²）、東部地区（250,628 m²）、西部地区（209,544 m²）で大きく、中央地区（63,874 m²）、南部地区（71,354 m²）では小さい。

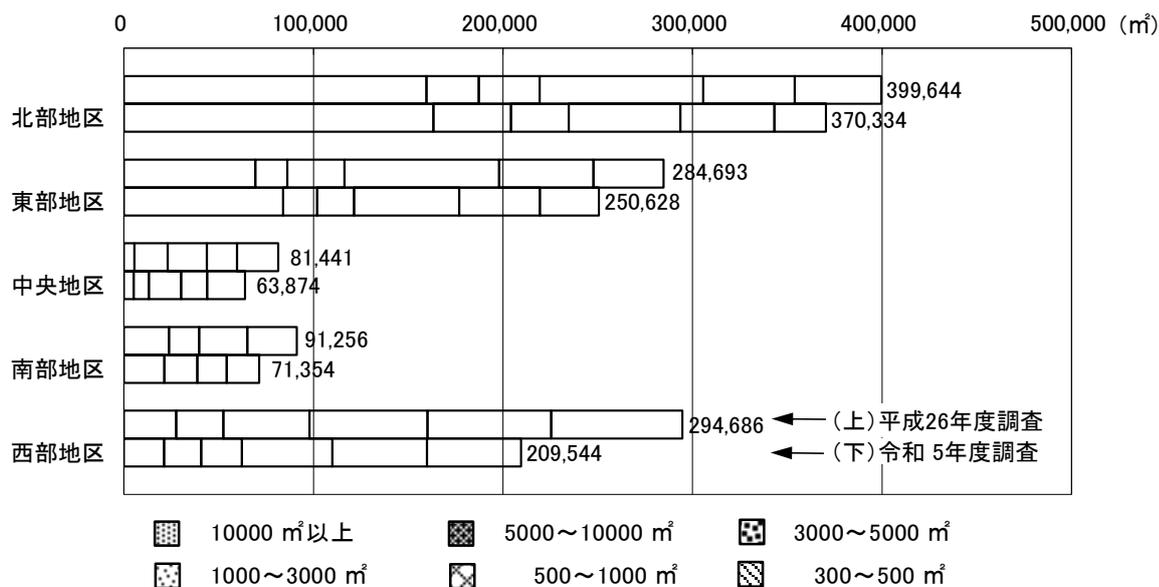
北部地区と東部地区では、5,000 m²以上の大規模な樹林が占める面積割合が大きく、樹林面積の小さい中央地区や南部地区では、10,000 m²以上の樹林が分布していない。また、西部地区では、大規模な樹林は少ないが、中規模・小規模な樹木被覆地が多い。

前回調査（2014（平成26）年度）と比較すると、樹林面積はすべての地区で減少している。特に西部地区での減少（85,142 m²）が顕著で、すべての規模の樹林での減少が大きく影響している。

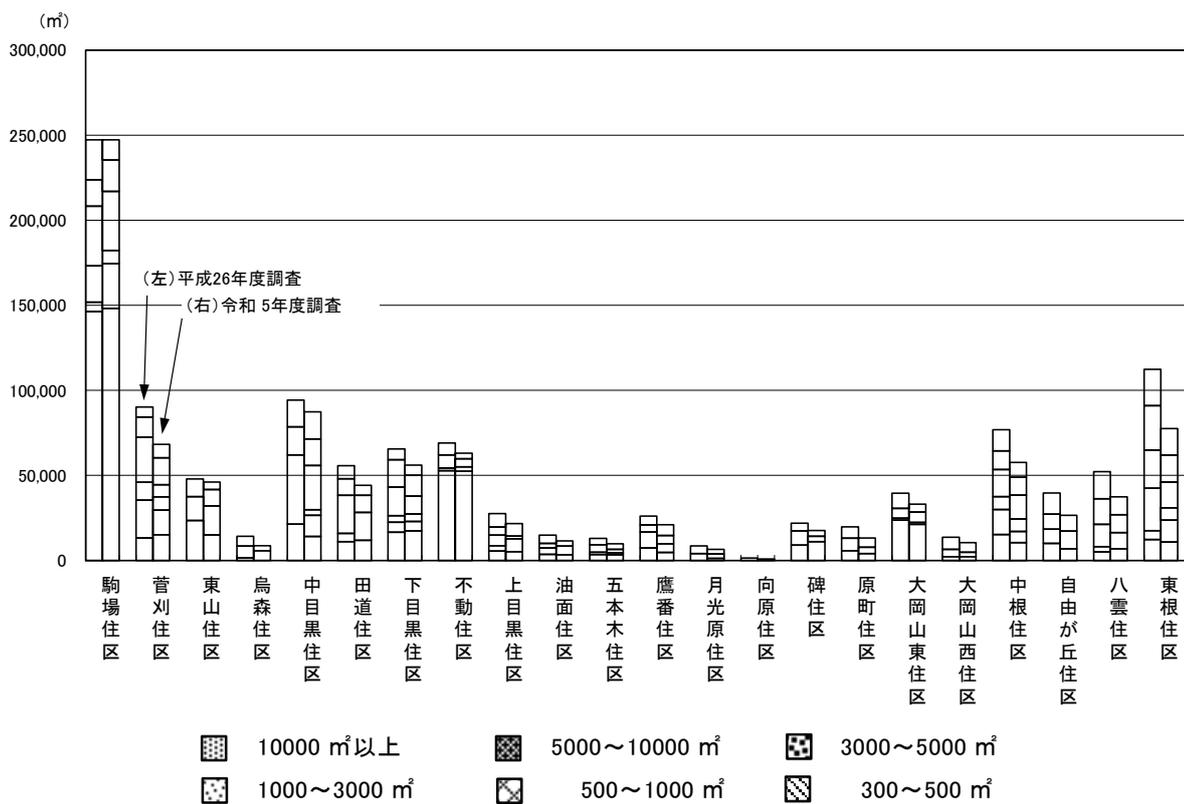
住区別の樹林をみると、駒場、中目黒、東根、菅刈、不動住区の樹林面積が大きく、特に駒場住区（247,302 m²）は突出している。

一方、向原、月光原、烏森、五本木、大岡山西住区では樹林面積が小さい。樹林の規模でみると、駒場、不動、大岡山東住区は、5,000 m²以上の大規模樹林の占める割合が大きい。田道、鷹番、東山住区は、1,000～5,000 m²の中規模程度の樹林の占める割合が大きく、向原、月光原住区は300～1,000 m²の小規模な樹林のみで占められている。

前回調査と比較すると、すべての住区で面積が減少している。特に、東根住区で大きく減少（34,813 m²）しており、菅刈住区でも大きな減少（21,887 m²）がみられる。



図Ⅱ-5-2 地区別の樹林面積の経年変化



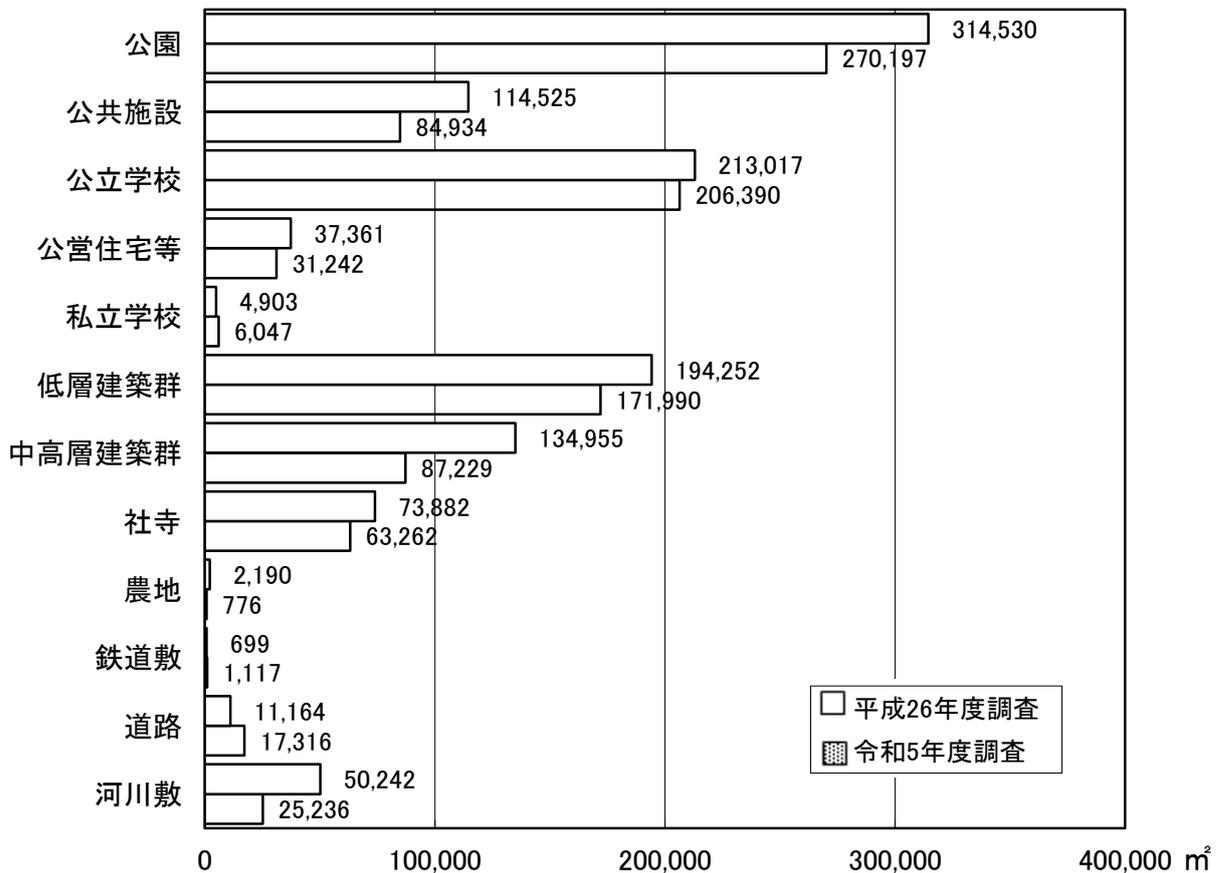
図Ⅱ-5-3 住区別の樹林面積の経年変化

(3) 土地利用区分別の現況

	(H26)		(R5)
○樹林面積の大きい土地利用区分	公園	→	公園
○樹林面積の小さい土地利用区分	鉄道敷	→	農地

土地利用区分別の樹林面積の経年変化を図Ⅱ-5-4に、土地利用区分別の樹林状況を表Ⅱ-5-2にそれぞれ示す。面積が10,000㎡以上となる規模の大きな樹林は、公園および公立学校、公共施設、社寺に限られる。低層建築群、中高層建築群で1,000㎡未満の樹林箇所数が多い。

前回調査と比較して、道路と私立学校、鉄道敷の樹林面積が僅かに増加している。一方、中高層建築群と公園での樹林面積の減少（共に40,000㎡以上）が顕著である。



図Ⅱ-5-4 土地利用区分別の樹林面積の経年変化

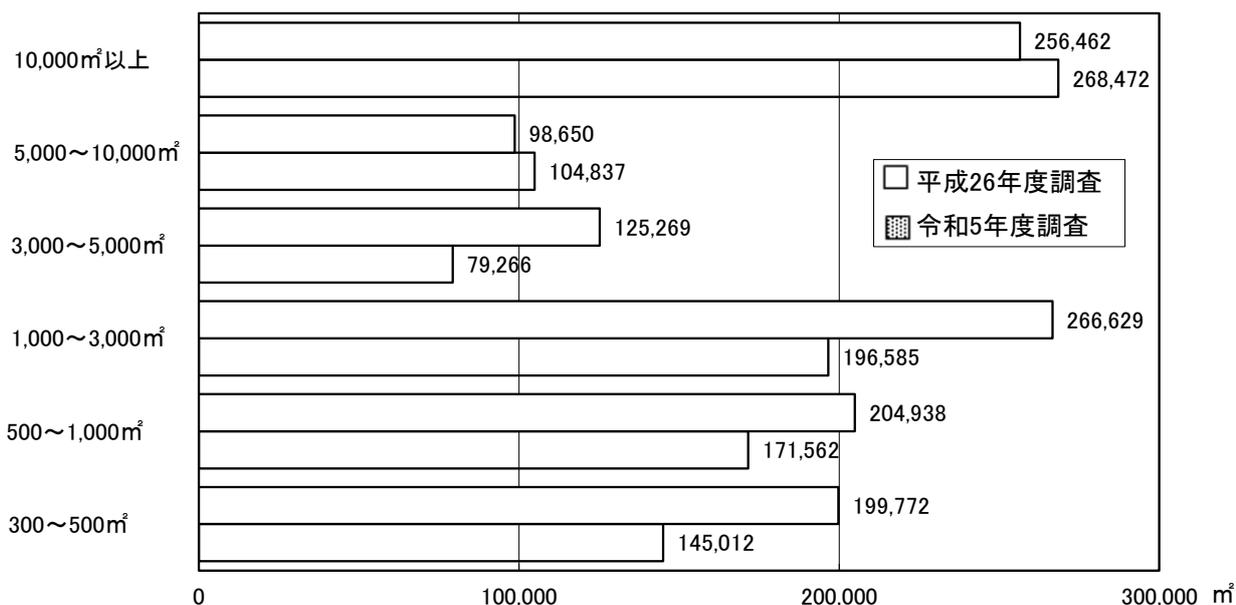
表Ⅱ-5-2 土地利用区別の樹林状況

土地利用区分	面積区分(箇所)						合計 (箇所)	土地利用の 箇所数別 構成比(%)	合計面積 (㎡)	土地利用の 面積別 構成比(%)
	300~ 500㎡	500~ 1,000㎡	1,000~ 3,000㎡	3,000~ 5,000㎡	5,000~ 10,000 ㎡	10,000㎡ 以上				
公園	38	21	19	7	7	5	97	12.1	270,197	28.0
公共施設	31	21	16	5	1	1	75	9.4	84,934	8.8
公営住宅	10	11	9	1	0	0	31	3.9	31,242	3.2
公立学校	35	25	21	3	3	2	89	11.1	206,390	21.4
私立学校	7	5	0	0	0	0	12	1.5	6,047	0.6
低層建築群	157	91	29	1	1	0	279	34.9	171,990	17.8
中高層建築群	51	37	11	3	2	0	104	13.0	87,229	9.0
社寺	19	9	10	1	2	1	42	5.3	63,262	6.6
農地	0	1	0	0	0	0	1	0.1	776	0.1
鉄道敷	1	1	0	0	0	0	2	0.3	1,117	0.1
道路	19	9	4	0	0	0	32	4.0	17,316	1.8
河川敷	11	19	6	0	0	0	36	4.5	25,236	2.6
区全体	379	250	125	21	16	9	800	100.0	965,734	100.0

2. 樹林の変化要因

前回調査と比較した樹林面積の面積規模別経年変化を図Ⅱ-5-5に示す。

3,000~5,000㎡の樹林の減少した分は、樹木の成長や、新たな緑地の創出により周辺の緑地と一体化し、5,000㎡以上の緑地が形成されたと考えられる。また、5,000㎡以下のすべての樹林の減少については、樹林が細分化や樹林そのものが大規模施設や宅地開発により、滅失されたことが要因と考えられる。

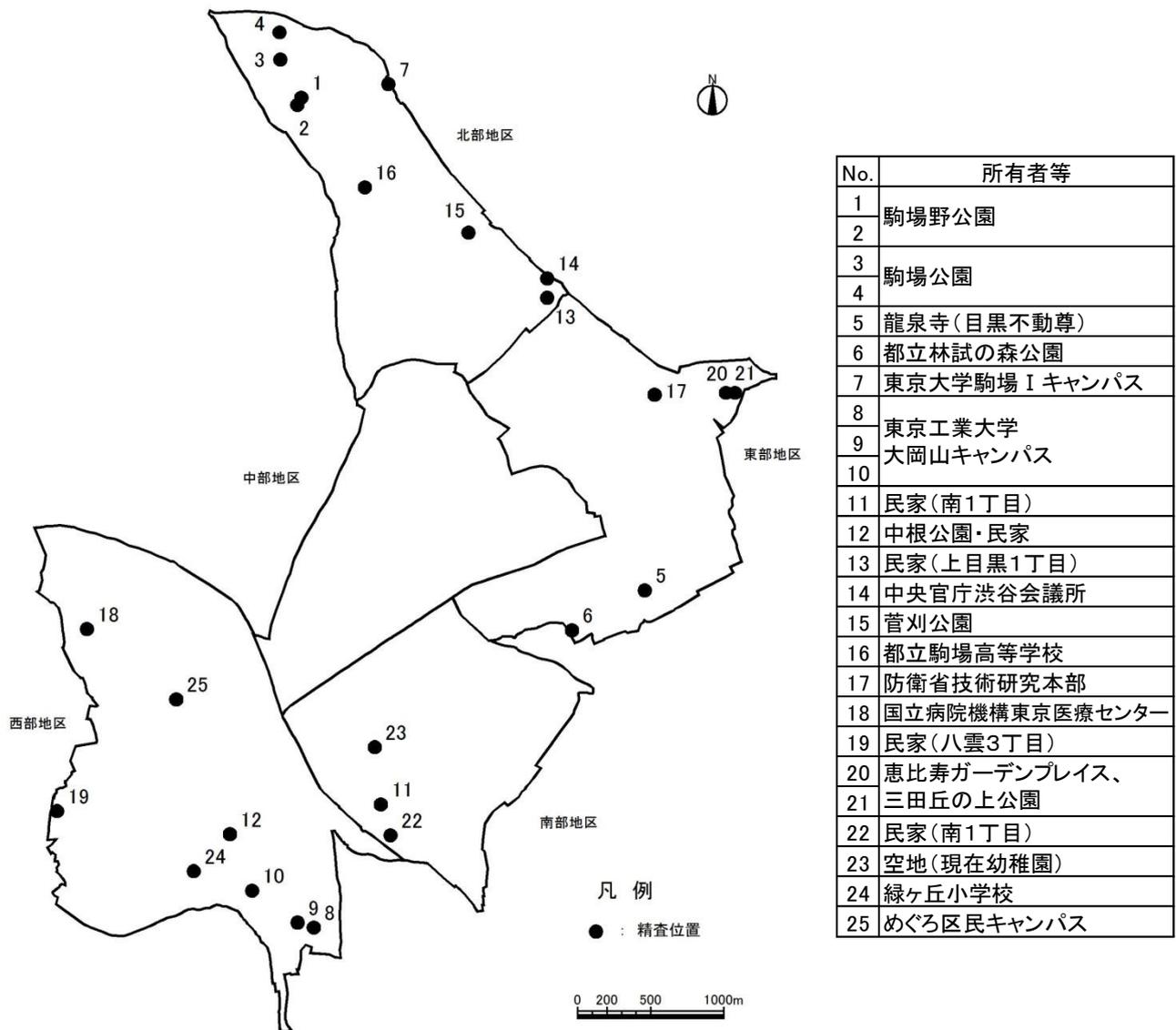


図Ⅱ-5-5 面積規模別樹林面積の経年変化

3. 良好な樹林

1992（平成 4）年度調査において、比較的良好と思われる樹林 125 箇所を抽出し、そのうち森林形態をなす（高木層から低木層までのすべての階層を有する）良好な樹林 15 樹林（19 地点）を*1環境保全林等の候補地の精査対象として植生調査を継続的に実施している。2004（平成 16）年度には、5 樹林（6 地点）を候補地として追加した。

今回は、20 樹林（25 地点）について、空中写真上での現況比較の追跡精査を行った。その精査地点を図Ⅱ-5-6に示す。



図Ⅱ-5-6 良好な樹林の精査地点位置図

*1 環境保全林：資料編 P.166 用語集(14)参照

精査対象である15樹林(25地点)について経年変化の結果を表Ⅱ-5-3に示す。
8地点(9樹林)では、その植生に大きな変化はなかった。2地点(2樹林)では樹林の縮小があった。

表Ⅱ-5-3 精査対象地点の経年変化

精査地点 番号	所有者等	地区	住区	町丁目	H26樹林 面積(m ²)	R5樹林 面積(m ²)	増減 (m ²)	経年変化
1*	駒場野公園	北部	駒場	駒場2	26,232	23,938	-2,294	樹林縮小(約2,300m ² の縮小)
2	駒場野公園	北部	駒場	駒場2	-	-	-	(精査地点番号1と同一の樹林である)
3*	駒場公園	北部	駒場	駒場4	35,396	31,453	-3,943	北側で樹林縮小(約3,900m ² の縮小)
4	駒場公園	北部	駒場	駒場4	-	-	-	(精査地点番号3と同一の樹林である)
5	龍泉寺(目黒不動尊)	東部	下目黒	下目黒3	19,841	20,000	159	大きな変化はない
6	都立林試の森公園	東部	不動	下目黒5	52,737	52,465	-272	大きな変化はない
7	東京大学駒場Ⅰキャンパス	北部	駒場	駒場3	86,612	92,822	6,210	多くの樹木が結合され大きな樹林形成がなされた
8*	東京工業大学大岡山キャンパス	南部	中根	大岡山2	15,234	12,669	-2,565	樹林縮小(約2,600m ² の縮小)
9	東京工業大学大岡山キャンパス	南部	中根	大岡山2	-	-	-	(精査地点番号8と同一の樹林である)
10*	東京工業大学大岡山キャンパス	南部	中根	緑が丘1	7,044	3,065	-3,979	樹林が分割され縮小
11*	民家(南1丁目)	南部	原町	南1	1,462	332	-1,130	樹林縮小(約1,100m ² の縮小)、農地滅失
12	中根公園・民家	南部	中根	中根2	10,117	9,700	-417	大きな変化はない
13*	民家(上目黒1丁目)	北部	菅刈	上目黒1	12,993	7,322	-5,671	樹林が分割され縮小
14*	中央官庁渋谷会議所 (旧朝倉家住宅)	北部	菅刈	青葉台1	10,381	8,859	-1,522	樹林縮小(約1,500m ² の縮小)
15	菅刈公園	北部	菅刈	青葉台2	14,898	15,066	168	大きな変化はない
16	都立駒場高等学校	北部	駒場	大橋2	6,204	5,923	-281	大きな変化はない
17	防衛省技術研究本部	東部	中目黒	中目黒2	9,462	14,083	4,621	多くの樹木が結合され大きな樹林形成がなされた
18*	国立病院機構東京医療センター	南部	東根	東が丘2	6,432	2,613	-3,819	樹林縮小(約3,800m ² の縮小)
19	民家(八雲3丁目)	南部	自由が丘	八雲3	-	-		樹林なし
20	恵比寿ガーデンプレイス、 三田丘の上公園	東部	田道	三田1	5,168	6,961	1,793	多くの樹木が結合され大きな樹林形成がなされた
21	恵比寿ガーデンプレイス、 三田丘の上公園	東部	田道	三田1	-	-		(精査地点番号20と同一の樹林である)
22	空地	南部	原町	南1	673	0	-673	樹木すべて伐採
23	空地	南部	大岡山東	碑文谷3	-	-		樹林なし
24	緑ヶ丘小学校	西部	自由が丘	緑が丘3	1,186	1,168	-18	大きな変化はない
25	めぐろ区民キャンパス	西部	八雲	八雲1	3,030	3,081	51	大きな変化はない

注) *は樹林縮小箇所